



News Release

2024年8月29日
N I T E (ナ イ ト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北海道支所

リコール情報の“未読・既読スルー”はNG！ ～年間約100件発生「リコール製品の事故」を防ぐ～

1. 事故の発生状況

NITEが受け付けた重大製品事故^{※1}のうち、2019年から2023年の5年間に発生したリコール後の重大製品事故は、北海道で合計9件ありました。

(1) 被害状況別の重大製品事故発生件数

リコール後の被害状況別の重大製品事故発生件数を表1に示します。

表1 被害状況別の重大製品事故発生件数 (2019～2023年) ^{※2、※3}

被害状況		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	総計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0	0
	重傷	1	0	0	0	0	1
	軽傷	0	0	0	0	0	0
物的被害	拡大被害	2[2]	0	0	4[4]	2[2]	8[8]
	製品破損	0	0	0	0	0	0
総計		3[2]	0	0	4[4]	2[2]	9[8]

(2) 製品別の重大製品事故発生件数

リコール後の製品別の重大製品事故発生件数を表2に示します。

表2 製品別の重大製品事故発生件数 (2019～2023年)

製品名	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	総計
電気ストーブ	1	0	0	0	1	2
石油ストーブ	0	0	0	2	0	2
電気洗濯機	0	0	0	1	0	1
電気掃除機	0	0	0	0	1	1
自転車	0	0	0	1	0	1
はしご	1	0	0	0	0	1
石油給湯機	1	0	0	0	0	1
総計	3	0	0	4	2	9

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故情報。
- (※2) 製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。
- (※3) []は火災件数。

2. リコール後の重大製品事故の事例

■はしご

事故発生年月 2019年4月（北海道、40歳代・男性、重傷）

【事故の内容】

工事現場で当該製品を使用中、転落し、左足指を負傷した。

【事故の原因】

当該製品は、延性の低い支柱材が使用されたため、支柱に亀裂が入り、破断に至ったものと推定される。

【再発防止措置】

輸入事業者は、2014年12月22日からリコール（製品回収・返金・無償製品交換）を開始しており、さらに2019年5月10日付けでホームページに重要なお知らせとして情報掲載を行い、製品回収に取り組んでいる。

■石油給湯機

事故発生年月 2019年11月（北海道、60歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

倉庫で異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。

【事故の原因】

当該製品の電磁弁に使用されているOリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと推定される。

【再発防止措置】

製造事業者は、2002年10月24日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともにOEM製品を含む対象商品について無償改修を実施している。

■電気ストーブ

事故発生年月 2023年3月（北海道、年齢・性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該製品は、コントローラー内部基板のヒーター用配線に、はんだ付け不良があったため、はんだクラックが生じてスパークが発生し、事故に至ったものと推定される。

【再発防止措置】

輸入事業者は、ホームページに情報を掲載し、無償交換を行っている。

3. リコール製品による重大製品事故を防ぐために気を付けるポイント

- テレビ、新聞、ラジオ、販売店の張り紙、ダイレクトメールなどのリコール情報を見逃さない。
- 使用している製品がリコール対象ではないか、随時、最新の情報を確認する。
- リコール対象製品と分かったら、不具合がなくても直ちに使用を中止し、リコールの案内に従って対応する。

4. 製品事故の実験映像について

製品事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者:佐藤、長谷川

電話:011-709-2324